

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 羽曳野荘

今年に入り、千葉県において小学4年生のいたたまれない事件が発生する等、子どもをとりまく環境は深刻度を増すばかりである。全国の児童虐待相談件数も毎年過去最多を更新している。それに伴い当施設でも一時保護委託件数が年々増加しており今年度においてもその対応に追われた1年であった。また、全国的に人材確保が経営上の課題となっている中、当法人でも人材確保が十分にできず、職員減の状態を運営をせざるを得ない状況であった。一方、限られた職員と子どもとの間で良好な関わりの積み重ねもでき、近年続いていた困難な養育の現状からも改善の兆しが見えた1年でもあった。「新しい養育ビジョン」発出により、当法人でも今後の推進計画の再考が求められておりその作業にも着手した年でもあった。施設の多機能化や高機能化が求められている中、当法人が取り組んでいる「生活困窮レスキュー事業」や「子育て広場」も需要が増加し、「地域のための社会福祉法人」として一歩前進した。法人運営では前年度に引き続き児童養護施設の運営を軸に、組織経営のガバナンスの強化とともに、地域における公益的な新たな取り組み等、基本理念に沿った質の高い運営を目標に事業を進めた。

■法 人

1. 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 監事による監査

平成30年5月22日

(2) 理事会

①平成30年5月26日

1. 平成29年度事業報告及び承認
2. 平成29年度会計決算報告及び承認
3. 平成29年度監事監査報告及び承認
4. 児童の状況について

②平成30年12月8日

1. 羽曳野市指導監査の報告について
2. 規程の変更について
 - ①経理規程
 - ②給与規程
3. 役員報酬について
4. 平成30年度事業経過報告（理事長の職務状況の報告含む）
5. 平成30年度一次補正予算案の承認
6. 照明器具の取替工事に関する契約について
7. 社会保険労務士との契約について

③平成31年3月24日

1. 平成30年度補正予算について

2. 平成31年度事業計画案について
3. 平成31年度予算案について
4. 諸規程の変更について
 - ①就業規則
 - ②給与規程
 - ③育児・介護休業等に関する規程
5. 社会保険労務士との契約について
6. 事業の経過報告について（理事長の職務状況の報告含む）

（3）評議員会

①平成30年6月17日

1. 平成29年度事業報告・決算報告及び監査報告の承認

②平成31年3月24日

1. 平成30年度補正予算について
2. 平成31年度事業計画案について
3. 平成31年度予算案について
4. 諸規程の変更について
 - ①就業規則
 - ②給与規程
 - ③育児・介護休業等に関する規程
5. 社会保険労務士との契約について
6. 事業の経過報告について（理事長の職務状況の報告含む）
7. 役員報酬について

2. 法人の取り組み（職務執行の状況）

（1）理事長の取り組み

- ① 平成29年度の総括（事業報告書、決算報告書、資産の変更登記等）
- ② 理事会・評議員会の運営
- ③ 人材育成・人材確保の取り組み
- ④ 社会的養護推進計画他、これからの社会的養護のあり方に関する取り組み
- ⑤ 適切な就労環境に向けた取り組み
- ⑥ 地域との連携

(2) 地域貢献に取り組む

子どもの貧困が社会問題となっている中、子どもを通して広く地域につながる、子育てを通し、地域になくはない存在となり得るよう、児童福祉施設を運営している社会福祉法人が何をすべきかを自問自答しながら進めた。

- ①法人の施設（設備・備品）を地域に開放した。
- ②地域の様々な活動に参画して、その中で地域のニーズを把握することで羽曳野荘としてできる支援を進めた。
- ③大規模災害時において、近隣住民の避難場所として利用のための協議を実施した。
- ④大規模災害時における羽曳野市の福祉避難所として利用する。
- ⑤地域の貧困家庭の支援を行った。（子ども食堂運営の模索）
- ⑥地域の子育て支援活動に参画した。

■児童養護施設

1. 一般状況

(1) 入所児童の状況 定員：34名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初日在籍数	29	29	30	30	30	30	30	32	32	32	32	32	368
入所児童数	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
退所児童数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
充足率	85	85	88	88	88	88	88	94	94	94	94	94	90

(充足率は初日在籍数で計算)

(2) 一時保護児童の状況

年間18名を委託 延べ日数1130日

委託解除後の状況（措置：2 一時保護所：1 家庭：12 一時保護委託継続中：3）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ児童数	4	4	5	6	5	4	6	5	4	4	2	5	54
延べ日数	96	124	129	131	113	68	89	42	108	69	56	105	1130

(3) 年齢別・男女別入所児童数

区分		就学前児童		小学生		中学生	高校生	その他	合計
		1・2歳児	年少児	低学年	高学年				
H30.4.1	男	0	2	5	1	5	3	0	16
	女	0	1	2	3	2	5	0	13
	計	0	3	7	4	7	8	0	29
H31.3.31	男	1	2	5	2	5	3	0	18
	女	0	1	3	3	2	5	0	14
	計	1	3	8	5	7	8	0	32

(4) 退所児童の状況

区分	主な退所理由							合計
	就職又は就労支援			大学等進学	家庭 復帰	措置 変更	里親	
	中卒	高卒	高校中退	自立				
人数	0	2	0	1	0	0	1	4

(5) 措置の理由

H30.4.1 現在

区分	虐待				養護問題				
	身体的	心理的	ネグレクト	性的	就労	経済的	養育困難	疾患	行方不明・拘留
保護者の 状況	両親		2	1			1		3
	実父					1	2		1
	実母	(1)	1	3			3	6	1
	実父	2							
	継母								
	継父		1						
実母									

(6) 職員の現員及び人事

施設長：1名 副施設長：1名 書記：1名 児童指導員：4名 保育士：12名
 栄養士：1名 調理員：3名（非常勤：1名） 臨床心理士：（非常勤3名）
 嘱託医：（非常勤1名）

H30年度採用職員 保育士：1名 調理員：1名（非常勤1名）

H31年度退職職員 保育士：2名 心理士：1名（1名） 調理員：1名

2. 入所児童・退所児童の状況

○入所児童について

【南棟】

- 2歳男児（5月入所）
- 小学3年女児
- 小学2年男児
- 小学6年男児

○退所児童について

【西棟】

- 高校3年女児（在籍期間：15年10ヶ月）
- 高校3年女児（在籍期間：6年8ヶ月）

【南棟】

- 小学3年男児（在籍期間：1年3ヵ月）
- 高校3年男児（在籍期間：7年8ヶ月）

3. 生活の様子について

□養育の状況

【全体の様子について】

- ・軽度知的障がいや発達障がい（自閉症スペクトラム症）愛着障がい・視覚障がい・慢性疾患（小児喘息・小児糖尿病）PTSD（トラウマ）症状を有する・自己肯定感の欠如・人格に問題のある子ども達が多数占めることで処遇の難しさや手立てに苦慮することが増えてきた。具体的には被害的な解釈や責任転嫁の発想、自己本位な思考、現実逃避、主体性の低下、状況判断や空間認知の鈍さ等が生活に強く表れるようになってきている。養育の基盤は確保しつつ個別的で専門的な養育が求められてきている。

□退所児童のアフターケアについて

- ・高校卒業した女兒宅に女性職員が自宅を伺って退所後の困りごとを聞いて励ました。
- ・家庭引き取りとなった4歳男児の子ども園とも連絡を取って家族の様子について把握した。
- ・大学に進学した女兒は寮で生活を送る。大学生活は順調で講義も履修できている。
- ・木下大サーカスにパフォーマーとして就職した男児の公演を、子どもと一緒に観覧する。
- ・養育里親（はぐくみホーム）に委託した小学3年男児の家庭訪問をする。

4. 苦情解決について

□苦情の申し出内容について

- 子ども関係：2件
- 保護者関係：2件
- 地域関係：2件

5. 年間実施行事

4月	桜まつり 避難誘導消火訓練 幼児・小学生日帰り行事（アドベンチャーワールド） プロ野球招待
5月	スポーツ大会 曾爾高原ハイキング 宝探し 母の日の催し さくらんぼ狩り招待 USJ招待
6月	JAM 大阪ふれあい活動（須磨海浜水族園）ジャガイモ掘り招待 幼・小創立記念行事（映画鑑賞） 大山太徳コンサート招待 父の日の催し 中学校創立記念行事（ラウンドワン：スポッチャ）
7月	七夕 フットサル大阪大会 夏休みラジオ体操 クラシックコンサート招待 難波別院映画会 子ども会映画会：中止 ぶどう狩り招待（ダルビッシュ有基金）万代ドリームワールド招待
8月	松阪キャンプ 羽曳野支援学校プール利用 プロ野球招待 高校生女兒高校野球観戦（甲子園） 目で見ると自然教室 河内会交歓ソフトボール大会 山崎製パン阪南工場見学

9月	敬老の日行事 悲田院昼店招待 プロ野球招待 老人保健施設盆踊り招待 レゴランド招待 子ども会映画会
10月	大山太徳コンサート招待 小学校ふれあいまつり 蜻蛉池公園外出 羽曳が丘祭り 白鳥児童館祭り 大津神社祭礼 サツマイモ掘り招待
11月	道明寺天満宮七五三詣 IBU学園祭行事 大阪電業協会ディキャンプ 中学校生き生きネットフェスタ 秋まつり 悲田院昼店招待 大津神社七五三詣
12月	大山太徳コンサート 大津神社七五三詣 ミカン狩り招待 日産労連招待（劇団四季鑑賞） 藤井寺市民音楽団 関西電力羽曳野営業所交流会（ニフレル） 市長・社協サンタ慰問 美鈴サンタさん訪問 ガイナーレ鳥取北野選手慰問 未来っ子カーニバル クリスマス会 大掃除 お餅つき 夜警
1月	初詣（壺井八幡宮） 映画鑑賞 木下サーカス招待 子ども会ボウリング大会 ピアノ発表会
2月	節分豆まき キッサニア甲子園招待 カップ座招待 金剛山耐寒登山 ガンバ大阪コーチによるフットサル練習
3月	石川クリーン作戦 ひな祭り催し イチゴ狩り招待 八角部屋招待 公徳学園縁日招待 大山太徳コンサート招待 中学生・高校生宿泊旅行 関西コレクション招待 幼児・小学生日帰り行事（アドベンチャーワールド） 退園生を送る会（喜多八招待）

6. クラブ活動

(1) フットサルクラブ

一年間、休日や祝日に練習に取り組んだ。児童施設対抗の大阪府大会ではグループリーグで敗退して、近畿大会出場は叶いませんでした。

(2) ソフトボールクラブ

河内地区の児童施設対抗のソフトボール大会に向けて練習に取り組んだ結果、3位の成績を収めることができました。

(3) クッキングクラブ（お菓子作り）

ボランティアの方のご指導でお菓子作りを行った。

(4) 陶芸クラブ（埴生窯）

土を触ってこねてお皿やお茶碗を作成しました。

(5) ピアノレッスンクラブ

ボランティアの方のご指導で合計6名がレッスンを受けて発表会を行い演奏した。

(6) 園芸クラブ

季節に合わせた野菜や草花の種を撒き、子どもと一緒に栽培した。

7. 学校・保護者との関わりについて

(1) 学校との関わり

○児童の在籍する小学校・中学校に新しく赴任された先生への研修会や小・中・施設合同の学習会を実施して、地域児童の課題を議論して理解・協力を図り、常時ケースカンファレンスを実施して連携を図った。また中学校とは学習会を週一度学年毎に教えて頂いた。

(2) 保護者との関わり

- 保護者には施設・学校の行事等の連絡を入れ、また催事には手紙を保護者に送付する等親子関係の構築に取り組んだ。
- 保護者宅への一時帰宅は、子ども家庭センターと連携して親子関係の調整を行った。

8. 心理療法の状況

○今年度の心理療法の目的

個別心理療法においては、対象児童の特性や生育歴等を考慮して年齢相応の心身の発達状況に基づく適切な人格形成を図ることを目的として臨床心理的援助を実施した。

集団においては環境の安定を図るとともに、日常場面での児童の言動を観察・分析して直接処遇職員と共に理解を深めることを目的として複眼的なコンサルテーションを行った。

(1) 心理面接の回数

内 容	回 数
心理療法	5 2 4
心理検査	0
生活場面面接	5 9 9
職員への助言	4 4 0
支援方針会議への出席	3 0 0
その他	0
合計	1, 8 6 3

(4) 今年度の心理療法の総括

直接処遇職員との情報共有の中で子ども達の課題を明確にして情緒的な面での援助の仕方を検討して、幼稚園年少から中学2年生までの子ども15名に対して個別心理療法を実施した

9. 健康管理

○各ユニットの健康管理

- ・夏季は熱中症や脱水症にかからないように昼間を室内で過ごさせ、外出した際は定期的に水分や塩分補給のために塩飴を舐めさせた。また保冷タオルで身体を冷やして対策を行った。
- ・昨年度同様インフルエンザの集団感染予防のため、感染者が出た場合は速やかに個室へ隔離したことで集団感染には至らなかった。
- ・日頃から子どもへ「手洗い・うがい」の声掛けを実施した。
- ・職員研修会で感染症予防の研修会を実施して、嘔吐処理の対応について周知を図った。
- ・花粉症の子どもが多かったため、眼の洗浄液を使用すると共にマスクを着用して軽減を図り、症状が重度の児童は病院を受診して目薬の点眼や服薬を行った。

10. 職員の研修

○内部研修【合計10回】

月	議論・受講した研修内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを主体とした権利擁護の実践 児童施設部会主任研修会の伝達研修 被措置児童人権侵害の予防と対象事例について プライバシー保護マニュアルについて
5月	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援計画の立案 ～子どもと一緒に考える～ 子どもの心はどうやって育っていくの？
6月	<ul style="list-style-type: none"> 里親支援について 児童福祉施設実習職員のためのガイドブック活用について
7月	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応について 夏休みに向けて 保母の会（岸和田学園園舎見学）の報告
9月	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの関わりを今いち度考える
10月	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの関わりを今いち度考える
11月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策の予防について
12月	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしの質を上げるためにできることは何か 処遇困難事例検討会に向けて
1月	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしの質を上げるためにできることは何か
2月	<ul style="list-style-type: none"> なし（職員がインフルエンザ疾患に掛かり中止）
3月	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の振り返りと次年度に向けて 研修生を迎えるにあたって

○外部研修

月	受講した研修内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> C SW（コミュニティソーシャルワーカー）養成研修 「生活困窮レスキュー事業」の総合生活相談を担うコミュニティソーシャルワークの実践
5月	<ul style="list-style-type: none"> 河内会新任職員研修会「つなぐ ～子ども達へのまなざし・築きあう一歩～」 河内会心理士研修会「論文を基にしたディスカッション及び事例検討」 栄養管理研究会「アレルギー児童への対応・自立支援・栄養士実務について」 基礎コース研修会（年3回）「児童福祉施設におけるチーム・組織について」
6月	<ul style="list-style-type: none"> 権利ノート研修会「施設における子どもの権利擁護について」 近畿児童養護施設連絡協議会「施設におけるグループワークのモデルに学ぶ今後の児童支援の在り方」 感染症・食中毒講習会「感染症の発生を未然に防止・発生した場合の対策」 河内会職員研修会「保護者対応の心がまえ」 保育士養成校と児童施設との実習研究懇談会 「魅力ある施設実習を目指して（職員のためのガイドブックの活用）」 里親対象ペアレントプログラム事前研修会

	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆかり会研修会「社会的養護にかかる取り組みについて」
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センターとの合同研修会「アタッチメントの視点から親子関係支援を再考する」 ・大阪府保母の会研修会「岸和田学園新園舎見学」
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士・調理師研修会「食物アレルギー疾患がある子もない子も共食を目指す給食について」 ・児童福祉施設におけるクッキング講座「スキムミルクを利用した調理実習」 「乳幼児期における咀嚼について」
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・河内会給食研修会「給食会議の活用について」 ・大阪府内児童施設職員研修会「アタッチメントの視点から親子関係支援を再考する」 ・社会的養護施設長研修会 ・人権研修会「心の病を持つ人への支援と人権を考える」
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・河内会心理士研修会「子どものアタッチメント表象について考える」 ・災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会 「非常時における備えについて」 ・保母の会宿泊研修会「徳島児童ホーム施設見学」 ・基幹的職員研修会 ・全国児童養護施設研究協議会 ・河内会中堅職員情報交換会 ・人権研修会「ひとり親家庭の生き様から見えてくる人権」
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・河内会職員研修会「東大阪市立障害児センターレピラの理解と発達検査結果の支援へのつなぎ方等」 ・特定給食講演会「大阪北部地震から南海地震への対策を考える」 ・人権研修会「発達障害の理解と支援」 ・保母の会研修「施設小規模化による保育士の調理への参加のための調理実習」 ・基幹的職員研修会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域小規模児童養護施設研修会「小規模グループケアの暮らしからみえる大人と子どもの付き合い・泣き笑い」 ・公正採用選考人権啓発推進員研修会「働き方改革関連法案について」 「パワハラ問題の理解と防止に向けて」 ・基幹的職員研修会 ・羽曳野市要保護児童対策協議会「要保護児童の現状について」
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童施設部会人権研修会「社会的養護における子どもの意思形成及び意見表明支援について」 ・地域小規模児童養護施設研修会「地域小規模児童養護施設の設置・運営・支援」 ・河内会宿泊研修会「亀山学園（児童養護施設）の見学」 「神愛館（乳児院）の見学等」 ・ゆかり会研修会「施設の研究・事例発表とディスカッション」 ・CSW初任者研修会「生活困窮レスキュー事業の視点とスキルアップを図る」
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・河内会心理士研修会「施設心理士のこれまでとこれから」 ・河内会職員研修会「災害の基礎・防災情報の整理」

	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センターとの研修会「アタッチメントの視点から社会的養育のあり方を再考する」 ・cocoro-net@Osaka「アタッチメントについて」 ・施設長研修会「都道府県社会的養育推進計画策定に係ることについて」 ・CRC研修会「事例発題」 ・食品表示HACCPセミナー「HACCP及び新たな原料原産地表示制度について」 ・栄養管理研究会「子どもと職員に向けた食事支援について」 ・理事長・施設長セミナー
--	--

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

(1) 受入可能人数：4名

(2) 契約市町村

羽曳野市・藤井寺市・松原市・八尾市・富田林市・河南町・河内長野市・太子町・千早赤坂村

	羽曳野	松原	富田林	合計
利用人数	1	1	4	6 (名)
延べ日数	14	7	56	77 (日)

(3) 利用の理由

- ・母の精神疾患による育児休養のため
- ・母が病気で入院するため
- ・母子家庭で母の就労のため

■生活困難者に対する相談支援事業

(大阪府社会福祉協議会大阪しあわせネットワーク生活困窮者レスキュー事業)

○家族構成：33歳男性 独身 ホームレス 無収入

理由：知人を頼って関東方面から転居したが、知人と連絡が取れなくなり、携帯電話の使用料金も支払えない状況になる。一時保護施設利用後、住居設定することとなったが、お金がなく家電や生活用品等の支援を求める。

期間：H30.5の1ヵ月

物品：冷蔵庫・電子レンジ

金額：¥15,000-

○家族構成：母43歳 11歳長女・8歳次女・3歳長男あり 母子家庭

理由：夫からのDV被害

期間：H30.12～H31.1の約1ヵ月間

物品：洗濯機・冷蔵庫・ランドセル・テレホンカード・食料

金額：¥57,000-